

主催：名古屋市
共催：日本弁理士会東海会
後援：経済産業省中部経済産業局
名古屋商工会議所
公益財団法人名古屋産業振興公社

技術の ブランディングで 差をつける！

～如何にして世に名を売るか！～

日時 令和2年 1月17日(金) 13:30～16:20

(先着)
定員

80名

参加費 **無料**

場所 名古屋市工業研究所 第1会議室(名古屋市熱田区六番三丁目4-41)

新技術や新素材を開発したのに、ブランド力が弱く収益に結びつかない事例があります。製品のデザインだけでなく素材や技術をブランド化することで認知度を上げて付加価値を高め、価格競争力を強める戦略が注目されています。そんな、技術ブランディングに関する事例をまじえてご紹介します。

講演1

「技術のブランディングが
なぜ必要か — 本当は重要な
B to Bのブランディング—」

13:35 ～ 14:45

小西中村特許事務所
弁理士

中村 知公 氏

講演2

「小規模事業者のブランド戦略
～町工場が開発した製品で
世界市場に挑む」

15:00 ～ 15:40

有限会社アートスクリー
代表取締役

松林 興 氏

講演3

「ブランディングは会社造り、
職場造り」

15:40 ～ 16:20

エヌケイエス株式会社
前代表取締役

松尾 茂樹 氏

PROGRAM

13:30 ～ 13:35 開催の挨拶

13:35 ～ 14:45 講演1

「技術のブランディングがなぜ必要か
— 本当は重要なB to Bのブランディング—」

14:45 ～ 15:00 休憩

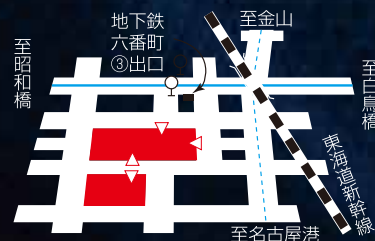
15:00 ～ 15:40 講演2

「小規模事業者のブランド戦略～
町工場が開発した製品で世界市場に挑む」

15:40 ～ 16:20 講演3

「ブランディングは会社造り、職場造り」

ACCESS



名古屋市工業研究所

〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
電話番号：052-654-9900 支援総括室

名古屋市営地下鉄 ▶ 名港線「六番町」下車(3番出口)すぐ
名古屋市営バス ▶ 栄22系統(栄ー港区役所)、
幹神宮2系統(神宮東門ー権野)等「六番町」下車すぐ

駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

▲ 名古屋市工業研究所支援総括室行 ▲

必要事項をご記入いただき、メール又はFAXにて送信してください。

メールアドレス：kouen@nmiri.city.nagoya.jp

FAX：052-654-6788

参加申込書

メールでの
お申込みは
コチラ

メールアドレス：kouen@nmiri.city.nagoya.jp

※件名を「ブランディング申込み」としてください。

お申し込みの際は、以下必要事項をご記入いただき送信してください。
参加証は発行いたしません。こちらからお断りの連絡がない限りご参加ください。

企業・団体名	
部署・役職名	
参加者氏名	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	@
メルマガ登録	☐ 希望する ☐ 希望しない

※ご記入いただきました個人情報は、適切に保管し、主催者の事業運営のためにのみ使用いたします。

NMIRI技術ニュース(メールマガジン)のご案内

工業研究所では、技術情報、講演・研修案内等をメールマガジン「NMIRI技術ニュース」として月1回配信しております。

講演内容

本講演は「技術のブランディングで差をつけろ!」と題して下記の内容で実施いたします。

講演1：技術のブランディングがなぜ必要かー本当は重要なB to Bのブランディングー

小西中村特許事務所 弁理士 中村知公氏

「我が社は技術で勝負!」だけではもったいないと思いませんか。貴社の技術をブランディングすることにより、技術力がブランドとの相乗効果を発揮し、新たな事業展開に繋がるかもしれません。反対にブランド力が無ければ、新たな事業展開において「貴社は誰?」で終わるかもしれません。本当は重要なB to Bのブランディングについて、わかりやすく紹介させていただきます。

講演2：小規模事業者のブランド戦略～町工場が開発した製品で世界市場に挑む

有限会社アートスクリー 代表取締役 松林 興氏

サポインを通じて、まったく新しい構造の緩み防止ねじ「モーションタイト」を開発しました。世界市場で認めてもらうために、特許はもちろんのこと、意匠や商標の取得にも真剣に向き合いました。成功例や失敗例も含めて現在進行形の話を紹介させていただきます。

講演3：ブランディングは会社造り、職場造り

エヌケイエス株式会社 前代表取締役 松尾茂樹氏

ブランドとは、組織が社会にする約束事です。そして、ブランディングとは、それを実現する手段・方法です。この目標と手段をハッキリさせることにより、本当のブランディングが可能になります。我が社が取り組んだ事例を元に、ブランディングとは地味な会社造り・職場造りの作業と同じステップを踏む必要があることを紹介させていただきます。

●お問い合わせ先 工業研究所 支援総括室 052-654-9900